メッセージを手軽に変換 LINE AIトークサジェストとは？
Yahoo! JAPAN ヘルプ ウェブ検索 ピーチコブラー
YAHOO! JAPAN ニュース IDでもっと便利に新規取得 ログイン アプリはじめて利用限定、お得な半額クーポン
キーワードを入力 マイページ 購入履歴
トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキング 有料
主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域 トピックス一覧

6日から“10年に1度”の高温、気象庁が9月までの猛暑予報

7/4(金) 17:14 配信 109

Science Portal 科学技術の最新情報サイト「サイエンスポータル」

こうした影響により、上空の偏西風は平年より北寄りの位置を流れ、チベット高気圧は北への張り出しが平年より強くなった。太平洋高気圧も北に張り出して平年より強くなって、全国的に暖かい空気に覆われやすくなるという。気象庁は地球温暖化の影響によって日本列島周辺だけでなく、全球的に大気全体の温度が高くなる傾向にあるとしている。

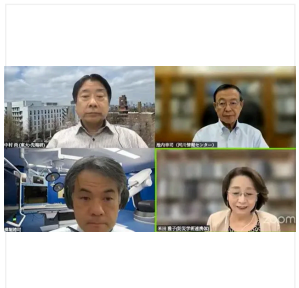


7～9月の平均気温の見通し。全国的に高い確率で「気温が高い」と予想されている（気象庁提供）

防災学術連携体（代表幹事・渦岡良介、米田雅子の2氏）は6月25日にオンラインで記者会見し、市民向けメッセージ「2025年夏秋の気象災害に備えましょう」を発表した。この中で気象学が専門の東京大学先端科学技術研究センター・シニアリサーチフェロー（名誉教授）の中村尚氏は、日本近海で海面水温が著しく高い状態が続く「海洋熱波」が影響して短時間で強い雨が降る「局地的大雨」や、積乱雲が同じ場所で次々と発生して激しい雨が数時間降り続く「線状降水帯」による大雨という気象災害に対する警戒を呼びかけた。

また、熱中症に詳しい日本医科大学教授の横堀将司氏は、2024年6～9月に熱中症による死者が観測史上最多の2033人に及んだことを示しながら、暑さだけでなく、汗が蒸発しにくい高い湿度も意識した予防のほか、乳幼児やお年寄り、持病がある人など「熱中症弱者」への配慮を呼びかけた。同氏はこれまで「熱中症被害は超災害級だが、予防できる災害」と指摘している。

また、防災学術連携体副代表幹事で東京大学教授の池内幸司氏（土木学会会長）は、豪雨や台風による土砂災害に対しても、「『重ねるハザードマップ』『わがまちハザードマップ』など、あなたの町のハザードマップを参考に日ごろから土砂災害のリスクを確認し、避難や連絡方法などについて備えよう」と強調した。



オンライン記者会見に出席して発言した左上から時計回りで中村尚氏、

米田雅子氏は、「災害級の猛暑や豪雨、さらに地震などが時間的に、また地理的に重なる『複合災害』は単独で発生する場合より被害が拡大しやすい。日ごろから気象情報に注意を払い、家族や地域のコミュニティ、自主防災組織などでこうした災害に対する備えをしていざという時に取るべき行動を確認しておくことが大切」と指摘した。

広告


広告
すぐの採用にもビズリーチ、料金をみる｜「企業様向け」即戦力採用ならビズリーチ
即戦力採用ならビズリーチ／公式 詳しくはこちら

アクセスランキング（科学）

1 便の潜血検査は3年続けて「陰性」それでも見つかった大腸がん2期…100%大丈夫じゃないワケ
読売新聞（ヨミドクター） 7/7(月) 11:00

2 脳梗塞で入院の70代女性　寝たきりになったのに「退院して」…医療者と患者家族の意識ギャップ
読売新聞（ヨミドクター） 7/6(日) 17:10

3 免許は返納したけれど…外出に困る高齢者　安定した「移動支援」体制づくりを模索